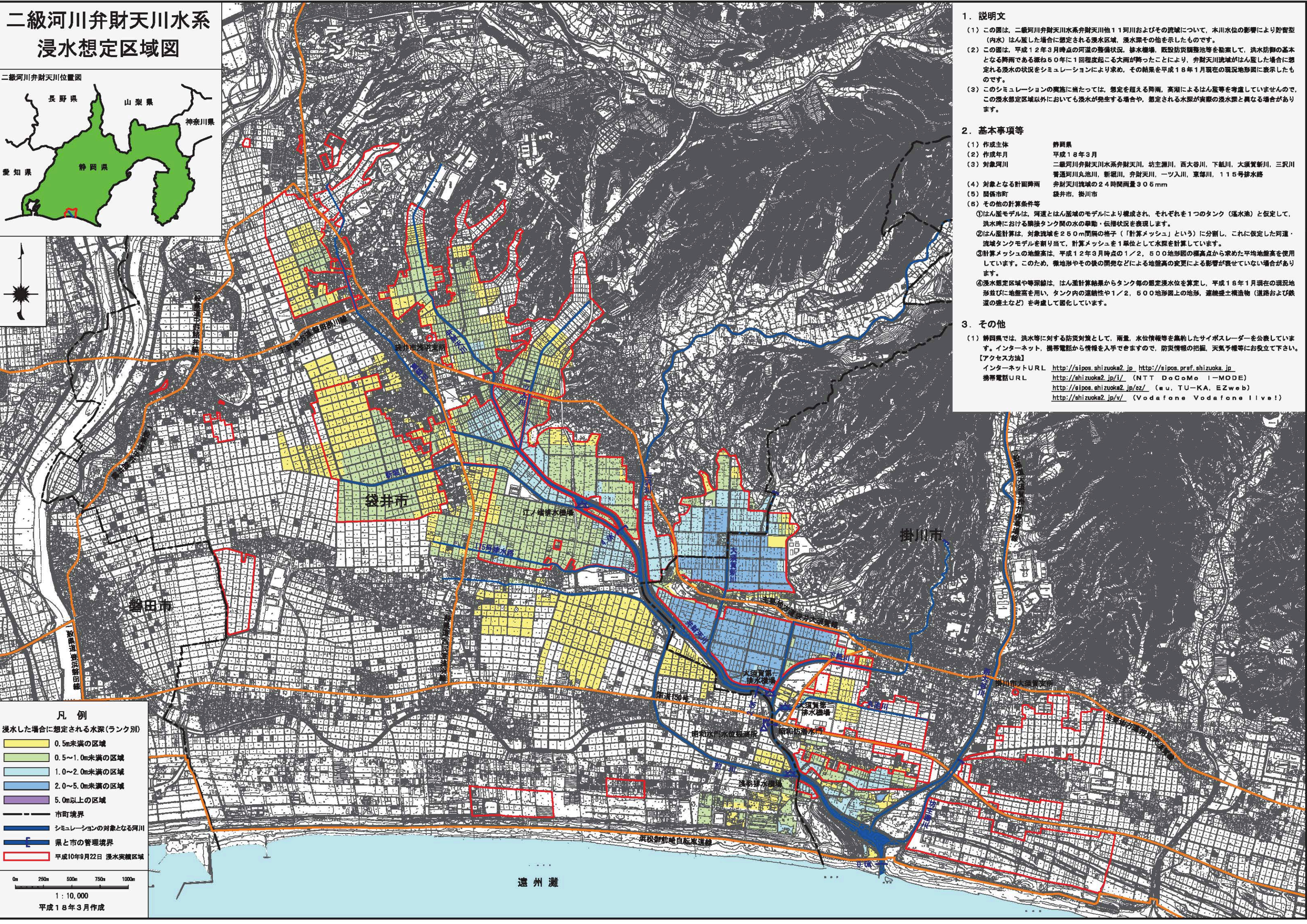


二級河川弁財天川水系 浸水想定区域図

二級河川弁財天川位置図



凡例

浸水した場合に想定される水深(ランク別)

- 0.5m未満の区域
- 0.5~1.0m未満の区域
- 1.0~2.0m未満の区域
- 2.0~5.0m未満の区域
- 5.0m以上の区域
- 市町境界
- シミュレーションの対象となる河川
- 県と市の管理境界
- 平成10年9月22日 浸水実績区域

0m 250m 500m 750m 1000m

1 : 10,000

平成18年3月作成

1. 説明文

- (1) この図は、二級河川弁財天川水系弁財天川他11河川およびその流域について、本川水位の影響により貯留型(内水)はん濫した場合に想定される浸水区域、浸水深その他を示したものです。
- (2) この図は、平成12年3月時点の河道の整備状況、排水機場、既設防災調整池等を勘案して、洪水防衛の基本となる降雨である概ね50年に1回程度起こる大雨が降ったことにより、弁財天川流域がはん濫した場合に想定される浸水の状況をシミュレーションにより求め、その結果を平成18年1月現在の現況地形図に表示したものです。
- (3) このシミュレーションの実施に当たっては、想定を超える降雨、高潮によるはん濫等を考慮していませんので、この浸水想定区域以外においても浸水が発生する場合や、想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。

2. 基本事項等

- (1) 作成主体 静岡県
- (2) 作成年月 平成18年3月
- (3) 対象河川 二級河川弁財天川水系弁財天川、坊主淵川、西大谷川、下紙川、大須賀新川、三沢川、普通河川丸池川、新瀬川、弁財天川、一ツ入川、東部川、115号排水路
- (4) 対象となる計画降雨 弁財天川流域の24時間雨量306mm
- (5) 関係市町 袋井市、掛川市
- (6) その他の計算条件等
 - ①はん濫モデルは、河道とはん濫域のモデルにより構成され、それぞれを1つのタンク(湛水池)と仮定して、洪水時における隣接タンク間の水の挙動・伝播状況を表示します。
 - ②はん濫計算は、対象流域を250m間隔の格子(「計算メッシュ」という)に分割し、これに仮定した河道・流域タンクモデルを割り当て、計算メッシュを1単位として水深を計算しています。
 - ③計算メッシュの地盤高は、平成12年3月時点の1/2、500地形図の標高点から求めた平均地盤高を使用しています。このため、微地形やその後の開発などによる地盤高の変更による影響が表せていない場合があります。
 - ④浸水想定区域や等深線は、はん濫計算結果からタンク毎の想定浸水深を算定し、平成18年1月現在の現況地形並びに地盤高を用い、タンク内の連続性や1/2、500地形図上の地形、連続盛土構造物(道路および鉄道の盛土など)を考慮して図化しています。

3. その他

- (1) 静岡県では、洪水等に対する防災対策として、雨量、水位情報等を集約したサイボスレーダーを公表しています。インターネット、携帯電話から情報を入力できますので、防災情報の把握、天気予報等に役立て下さい。
【アクセス方法】
 インターネットURL <http://sipos.shizuoka.jp>、<http://sipos.pref.shizuoka.jp>
 携帯電話URL <http://shizuoka2.jp/i/> (NTT DoCoMo I-MODE)
<http://sipos.shizuoka2.jp/ez/> (au, TU-KA, EZweb)
<http://shizuoka2.jp/v/> (Vodafone Vodafone live!)